

## 山行報告書

山行管理部

自然保護・ターブルード・サロン合同企画 古光山 6月16～17日

L石野(博) 参加29名

17日 大峠登山口 9:50 — 古光山 山頂 11:20 (昼食) 11:45 —

— 後古光山 13:18 — 長尾峠 下山 14:00 太良路

バスにて 姫石の湯 — 三季館 16:20

18日 伊勢街道

御杖 小学校前から出発 9:05 街道ポイント、ポイントで丸山先生の説明を受ける。4時間程、街道を歩き丸山公園で昼食。徒歩で最終地、姫石の湯に。

14:30 ~ 16:00 御杖村を出発

色々大変だった事と思います。お疲れ様でした。

(宇野 記)

ターブルード 高野山黒河道 7月1日 L稲田・近澤 参加12名

難波(7時24分発) ⇒ 橋本(8時18分発) ⇒ 極楽橋(9時2分発) ⇒

高野山駅(9時13分発) ⇒ 奥の院前バス停(9時29分着) トイレ後トレ

ッキング出発 奥の院バス停(9時44分発) ⇒ 三本杉(コース説明と諸注意

伝達、準備体操) ⇒ 一本杉 ⇒ 子継峠(粉撞峠)「こつぎとうげ」 ⇒ 久保小

学校「くどやま森の童話館」(12時10分着(昼食))久保小学校(12時45

分発) ⇒ 林道合流 ⇒ 市平春日神社(桂の木) ⇒ 市平橋(玉川峡) ⇒ (わ

らん谷) ⇒ 明神ヶ田和 ⇒ 定福寺(16時10分着(解散)) ⇒ 紀伊清水

駅 ⇒ 橋本 ⇒ 難波

昨年(2019)の11月に土曜山行とターブルードの合同山行として企画しましたが台風

の影響で急遽中止し今回、ターブルードの月例の山行として7月1日(日)に

高野山「黒河道」奥の院から定福寺までのトレッキングを実施させて頂きました。

高野山には七つの参詣道(街道)がありよく知られているのが町石道、京大坂道、

そして今回歩いた黒河道です。この黒河道は麓の橋本からお大師様への毎日のお

供え物(お食事)や地域の物産を高野山に奉納するために運んだ雑時(ぞうじ)

のぼりの道でありまた豊臣秀吉が高野山で歌舞音曲の宴を催し神の怒りか雷鳴が

轟き急ぎ馬に乗り逃げ帰った道とも言い伝えられております。7月1日当日はお

天気にも恵まれご参加頂いたメンバーの皆様(皆様)に黒河道の云われ等もお話しながら

楽しく歩くことが出来ました。そこそこ距離もありますのでしっかりと小休憩を

とりながら無事にほぼ計画の想定時間内に目的地の定福寺、南海電車紀伊清水駅

に到着することが出来ました。今回 ご参加頂きましたメンバーの皆様、サポート頂きましたSLの近澤さん、ご指導頂きました児玉部長に感謝申し上げます、ありがとうございました。  
(稲田 理 記)

## 土曜山行 焼岳・西穂高独標 7月14~16日

CL 乾 SL 森山、入山、網 参加15名

14日 阪急梅田8:00 →松本15:35 →新島々16:39 →中の湯温泉17:00 (泊)  
15日 中の湯温泉4:30 →焼岳北峰8:20 → 焼岳小屋(休憩)9:50~10:20 →割谷山  
11:35 →西穂山荘15:00  
16日 西穂山荘3:30 →丸山4:00 →西穂独標5:00~5:15 →ピラミッドピーク5:  
40~5:55 →西穂独標6:25 →西穂山荘7:30~8:00 →西穂高口9:05~9:15 →  
新穂高温泉9:35~9:55 →平湯(入浴)10:30~12:30 →高山(昼食・休  
憩)13:30~16:50 →大阪22:45

天気にも恵まれ最高の3日間を過ごせました。ありがとうございます。

一日目 17時に中の湯温泉に到着後、直ぐに温泉に入ってから夕食(宴会☺)寝る前に温泉、朝起きて温泉と温泉三昧(^o^)♫

二日目 3:30起床 4:30清々しい朝焼けの頃、焼岳北峰目指して樹木や高山植物生い茂る道を気持ちよくハイク。頂上に近付くと植物は無くなり硫黄の匂いが鼻につく。活火山の荒らしい岩場。煙が立ち上る。それらを含めた絶景にめっちゃ感動！その後 焼岳小屋まで歩くが疲れがピークに👊 休憩してから西穂山荘までビールビールと思いながら頑張って15:00に無事到着しました。明日は2:30に起床なので食事後、早めに睡眠しました。

三日目 2:30起床 3:30満天の星空 天の川に感動し眠い目を擦りながらヘッドライトを点けて西穂独標目指して高山植物の中をハイク。やはり近付くにつれ樹木は無くなり岩場に。5:00に西穂独標に到着！ 遠くに富士山が綺麗に見えアルプス山脈も残雪に雲海 山々の緑 素晴らしい絶景に大感動！その後 ピラミッドピーク目指し岩山を三点確保で下っては登り登っては下る。一步間違えたら谷底に---スリル満天の登山。 願野さんにリードしてもらいピラミッドピークに何とか到着！ 無事にやり遂げた事に感動！

その後 西穂山荘に戻りロープウェイで下山。平湯温泉で温泉に浸かり 高山で反省会をして帰阪しました。感動しまくりの三日間。計画、お手配下さった担当者の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

(森永 記)

教育部 白滝谷沢登山山行 7月22日 CL 高桑 参加6名

JR 大阪駅前 06:40 → 坊村P 08:30 → 白滝谷入溪 09:40 → 夫婦滝  
14:00 → 坊村P 16:30 → 大阪 19:30 解散

酷暑の中、スタッフ研修のボッカ訓練予定を変更して涼を求め沢登りにしました。豪雨のため中止した沢登り講習の希望者に声掛けをして3名を加え、実施しました。連日、街中では体温以上の気温でしたが沢筋では木漏れ日の中 23℃と別世界で沢水は冷たいほどの贅沢。今回、沢登り初めての新入会員も沢の感触を恐る恐る肌で感じつつ子供のように高揚して登っていました。後半は人生経験を發揮して胸、腹、尻、太腿など余すところなく岩とスキンシップを図りつつ沢を楽しんでいました。夏ならではの沢登りに来夏は多くの方と天候に恵まれるのを祈る次第です。

(高桑 記)

### 土曜日山行 白滝山から内見山へ 8月11日

CL 楠本 SL 島袋 松本(光)参加 24名

JR 大阪駅 7:45 発(新快速)⇒JR 堅田駅 8:35 着バス 8:50 発→坊村 9:30 着坊村 9:50~  
伊藤新道出合 10:30~わさび大滝下 11:15~白滝山(昼食) 13:00~13:30 夫婦滝 14:05~  
汁谷 15:20~内見山 15:45 着 内見山からゴンドラ、バスで JR 志賀駅 17:00(解散)

坊村の気温表示 28 度上昇時間帯でもあり風も殆ど無く、曇りのち晴れで二班に分かれて標高差 730m を登り始める。おおよそコースタイムでわさび大滝に着く。そこからの伊藤新道急登が結構きつかった。休憩と水分補給をしながら登る。皆んな汗だくになっていました。CL の K さんが頂上手前 30 分附近で筋肉痛になり、皆んなを先に行くよう指示、処置と休憩を取り少し遅れて白滝山に着く。山頂は木々に囲まれて眺望はなかった。昼食を取り皆さん少し元気が出る。下山は私が先頭を歩き、夫婦滝の所で写真を撮ったりする。其の後ペースが速かったのか二人筋肉痛で対処される。内見山への登りはしんどかった。ゴンドラに乗る切符の手配が判らず又リーダーが、筋肉痛で動けない時先頭に行くべきだった。頼っていて機転がきかず、そしてヒルのいる山と気付かず二人出血していました。これらのことは反省すべき点です。皆様にご迷惑をかけそしてご協力のお陰で無事に山行出来た事を感謝します。

(島袋 記)

### ターブルドート 大覚寺~長尾山~高尾 8月19日(日)

L 杉谷 SL 木村 谷村 参加 23名

阪急梅田駅 8時 14分=阪急嵐山駅 9時 07分着—大覚寺前—大沢の池(10:30)出—京見峠(11:10)—長尾山ピストン(30分)—京見峠—菖蒲谷池(12:00)昼食(12:35)出—高尾(13:30)—清滝川(13:50)—清滝バス停(15:00)解散

暑い中多数の参加あり 嵐山駅より大覚寺までバスの予定が待ち時間を考え歩くことにした。大沢の池ではハスの花が見ごろ暑さを忘れさせてくれる。直指庵より京見峠までは登りがつづく。昼食後は木陰の中を歩き清滝川にそって清滝バス停へ。途中数か所崖崩れがあったが無事通過。解散後嵐山駅まで歩く人 バスをまつ人に分かれる。バスが1時間に1本と少なくなっていた。心配していた熱中症もなぐのんびり山行ができました。(杉谷 記)

**有志山行 白山 7月25～28日 L木村(佐) 参加3名**

7月25日(水) 阪急梅田8:00=金沢駅13:11 金沢(泊)  
7月26日(木) 金沢駅7:00=別当出合9:30 別当出合9:50→中飯場10:40  
→甚之助避難小屋13:20→南竜山荘15:30 (泊)  
7月27日(金) 南竜山荘(展望コース)7:00→室堂10:30 →御前峰12:15→  
千蛇ヶ池(お池めぐりと花の散策)→室堂14:50 (泊)  
7月28日(土) 室堂6:15→黒ボコ岩6:45→甚之助避難小屋8:15→  
中飯場10:00→別当出合12:00=金沢駅14:30 ⇒大阪

今回、高山植物の散策をと、南竜山荘1泊、室堂1泊とユックリ山行を計画しました。3日間共、晴天に恵まれ、期待通りの沢山の高山植物に出会え、幸せ気分の山行となりました。室堂小屋の土曜日の予約が取れなかったので前倒しにしましたが、台風12号の影響も受けず早くして良かったです。

(森本 記)

**有志山行 柏原新道～針ノ木岳～船窪岳～烏帽子岳縦走**

—ライチョウのナナちゃんが道案内—

**7月27日～31日 CL 乾 参加3名**

7/27 (晴れ) JR 新大阪駅6:27 発(ひかり)⇒7:34 名古屋駅8:00 (しなの)  
⇒10:06 松本駅10:27 (あずさ) ⇒11:01 信濃大町駅11:10 [タクシー]  
⇒11:40 柏原新道入口(登山口)11:50～13:03 ケルン～14:18 水平岬(石  
畳)～15:03 富士見坂～15:25 種池山荘

【歩行時間 3:35 休憩時間含む】

7/28 (ずっと雨) 種池山荘5:35 発～7:10 岩小屋沢岳～7:50 新越山荘(弁当  
を食べて休憩)8:25～10:00 赤沢岳～11:55 スバリ岳～(ガレ場の急登)  
(ツガイのライチョウ)12:55 針ノ木岳(ライチョウ)～13:45 針ノ木  
小屋(広い乾燥室)(夜半から早朝に台風12号通過)

【歩行時間 8:10 同上】

7/29 (雨のち夕方晴れ) 針ノ木小屋 7:00 発 (風雨治まるのを待つ) ~  
8:20 蓮華岳 (ライチョウ親子) (ガレ場の下り、クサリ、ハシゴ)  
9:55 北葛乗越~11:03 北葛岳~12:00 七倉乗越 (東側は崩落、もろい岩  
場) ~ (13:04 ライチョウ「ナナちゃん」が道案内を始める) 13:30 七倉  
岳~13:40 船窪岳分岐~13:45 ナナちゃんの道案内が終わり、船窪小屋に  
到着【歩行時間 6:45 同上】

7/30 (晴れのちガス) 船窪小屋 5:35 発~7:15 船窪岳 (第一ピーク) ~8:20  
船窪岳 (第二ピーク/展望なし) (丸木橋・朽ちた木のハシゴ・ロープ・ワイ  
ヤーなど) ~11:20 不動岳 (山頂に大きな花崗岩) ~13:25 南沢岳 (白砂  
の広い山頂) ~14:05 (四十八池の池塘) ~14:45 烏帽子岳分岐 (ザック  
をデポ) ~15:05 烏帽子岳 (クサリ) ~15:40 ニセ烏帽子岳 (親子 3 羽の  
ライチョウ) ~15:55 烏帽子小屋 (ブヨが多い)  
【歩行時間 10:20 同上】

7/31 (晴れ) 烏帽子小屋 6:10 発~7:05 三角点~8:33 権太落とし~9:35 水  
場  
~9:45 高瀬ダム 9:50 [タクシー] ⇒10:25 大町温泉郷「薬師の湯」  
(立ち寄り湯と昼食) ⇒13:45 大町温泉郷バス停⇒14:05 信濃大町駅  
14:13 (各停) ⇒15:12 松本駅 15:53 (しなの) ⇒18:05 名古屋駅 18:19  
(ひかり) ⇒19:26 新大阪  
【歩行時間 3:35 同上】

#### ※山小屋情報

種池山荘=労山カードで 500 円割引 (200 名) 水 1 リットルは無料

(弁当) ちらし寿司 800 円 (紙弁当箱)

(充電) コイン式充電器 (山岳警備隊の常駐詰所あり) (ドコモ OK)

新越山荘=種池山荘、冷池山荘と同じ系列。雨のなか、休息に立ち寄ったが種池  
山荘の弁当を食べるといって、お茶を出してくれて、自炊室を提供し  
てくれた。従業員の対応がとても親切でした。

針ノ木小屋=労山カードで 500 円割引 (100 人) 水 1 リットルは無料

(トイレ) バイオ式できれい=男女共用 4 室 男子 1 室

(食堂) 畳敷き 20 畳 (乾燥室は広い) (ドコモ OK)

(充電) 受付や階段にコンセントあり、5 時から無料で充電できます

船窪小屋=ランプの宿なので夕暮れ前に要荷物整理 (30 人)

到着時にお茶を出してくれる 水 500ml=100 円

(トイレ) 女性は小屋内 (2)、男性は小屋外 (2) のバイオトイレ

(充電) なし (ドコモ OK)

(乾燥室) ないが、囲炉裏端の上にハンガーで並べて乾かしてくれる  
(食事) 炉端で食する山菜天ぷら、ビーフシチュー、酢漬けのキュウリ  
などの夕食や朝食は手作り感ありとてもおいしい。弁当もおいしい  
が、プラ容器でかさばるのでがっかり。

(眺望) 小屋の傍に展望所があり、八ヶ岳、富士山、立山、槍・穂高な  
ど 360 度の絶景。星空もきれい。出発時には鐘を鳴らしてくれる家  
庭的な小屋。

烏帽子小屋 = (70 人) (充電) なし 圏外 (テント場近くの展望所ではドコモ OK)  
(トイレ) 4-5 か所だが、とても臭い (乾燥室は狭い)  
水 500ml = 100 円 (雨水)、牛乳パック = 400 円がある、  
(ブヨ) 小屋の外はブヨがうようよ。足を刺された。

#### ※ライチョウ目撃情報 (合計 9 羽)

何と 4 1 分にわたり私たちを先導してくれたライチョウが 1 羽居ました。七  
倉岳への登り、山頂から船窪小屋まえまで、登山道をずっと先導してくれま  
した。ナナちゃんと名付けましたが、こちらが止まると、ライチョウも止ま  
り、道端の草やハイマツをつついて待ってくれました。お蔭で時間も忘れて  
雨の中の山行も楽しくなりました。

7/28 針ノ木岳の登り (ツガイ 2 羽) + 下り (親子 2 羽)

7/29 蓮華岳山頂 (1 羽)

7/29 七倉岳の登りから船窪小屋分岐まで (1 羽 = ナナちゃん)

7/30 ニセ烏帽子岳の登り (親と幼鳥 2 羽)

#### ※コマクサ情報

総じて花はやや白っぽく、濃い紅色は少ない。厳しい自然環境なのか、花も  
株も小さい。白いコマクサも探せば見つかります。

1. 針ノ木岳頂上近くのお花畑 (登山道からすぐ近くにありますが)
2. 蓮華岳の山頂付近から下りのガレ場  
(白いコマクサもある、広大な群生地)
3. 不動岳山頂の広場から下りの砂礫地 (広い群生地)
4. 南沢岳の下りのガレ場 (広い群生地)
5. 烏帽子岳山頂近く
6. ニセ烏帽子岳の登りの砂礫地

山行二日目に台風 12 号が本州に上陸する予報だったので、「ルートや日程を変  
更することもあり」として出発。1 名は家族の同意を得られず取り止め。反対を押

し切ってまで参加するよりも断念の判断は賢明だと思いました。

7/28 深夜に台風が三重県に上陸。朝方まで凄い風雨で針ノ木小屋がガタガタ鳴っていました。7/29 も雨。他の登山者が次々出発するのを見送りながら、台風情報を小屋で確認。この日のコースタイムは5:45と短いので、雨が収まるのを待ち、7時に出発。雨が降ったり止んだりと未だ台風の影響は残っていました。蓮華岳の次々現れるコマクサや七倉岳のライチョウのナナちゃんに励まされながら、ガレ場の下りやクサリ場を越えて、2時前に船窪小屋に到着。そして夕方、急速にガスが消えて行き、蓮華岳、立山、薬師岳、槍ヶ岳など周辺の山々が姿を現しました。7/30 のご来光では台風一過、富士山、八ヶ岳、浅間山なども雲海の中に見えて360度の鮮やかな展望を満喫。船窪小屋から先は、登り下りを繰り返して、ガレ場、クサリ、木のハンゴ、崩落地などの難所の連続を越えていく、今回のハイライト。苦しいながらも下山する高瀬ダムを見ながら先に進みます。7/31 は酷暑の中、ブナ立尾根の急坂を下り、大町温泉郷の「薬師の湯」で乾杯。

今回の山行では、台風や雨の予報をどう捉えるのか、現地に行ってからどう対応するのか、予備日をどう使うのか、判断の難しさを感じました。また、難所が多いコースでは通過に時間が掛かるので、少人数山行のメリットも感じました。

最後に、天候の変化にも難所の連続にも、「何とかなる」といつも前向きな乾さん、願野さんに感謝です。  
(湯浅 記)

## 有志山行 西穂高岳から焼岳 8月6～9日 L宮田、SL重岡 参加3名

8月6日 OCAT 7:20→13:30 高山 13:40→15:30 新穂高ロープウェー前 16:00→16:30 西穂高口→17:50 西穂山荘 (泊)

7日 西穂山荘 4:30→独標 6:05→ピラミッドピーク 6:45→チャンピオンピーク 7:30→8:20 山頂 8:45→独標 10:30→山荘 11:45 (泊)

8日 西穂山荘 4:30→9:00 焼岳小屋 9:30→山頂 11:10→焼岳小屋 12:10 (泊)

9日 焼岳小屋 6:15→梓川出合 8:55 上高地 15:40→大阪 22:00 解散

西穂高岳へは大小いくつもの険しいピークを越え、独標からは足場注意の切り立った岩場や痩せ尾根の連続です。歩きはじめてしばらくはガスがかかってきましたが、山頂に着くころには青空になり、歩いてきたコースを振り返ってみると、狭い岩場や岩峰を超えてたどり着いたことを実感しました。上高地や涸沢から見る穂高とは、違った岩峰の美しさを味わえました。

(猪瀬記)

有志山行 奥ノ深谷沢登り山行 8月13日 CL高桑 参加3名  
JR大阪駅前 06:40 → 明王谷浴いP 09:30 → 奥ノ深谷入溪 10:30 →  
登山道交差点 14:20 → 明王谷浴いP 16:00 → 大阪 19:30 解散

酷暑の中、スタッフ研修の夏山が中止となりその代替え案で奥の深谷へ涼を求め沢登りにしました。

毎年初歩の沢登りで白滝谷に行っているが、遡行レベルもアップして初級でなくなった分日本百名谷でもある奥の深谷の滝は美しく滝釜のエメラルドグリーンの冷たく透明な輝きのため息が出ました。次々と滝が現れて楽しんでいたら途中プチナメ滝で二人は難なく通過出来たのに、私は沢靴なのに滑る・・・滝釜に2回ドボーン高桑さんに引き上げてもらいやっと通過。泳いで釜から滝を登るところは、前のパーティでなかなか勇気が出ない人がいて待ち時間があり、いざ自分の番になるとやはりビビりました足がつかない場所で泳ぐ恐怖。しかし出来れば達成感でおもしろい！に変わりました。

12時半頃急に空が黒くなり雷が鳴り出し雨と雷の中、登山道に登れるところあれば、すぐに中止すると決めたものの結局最後までなくて沢を遡行しました。

下山道では雨が上がり気温差でしょうか濃霧が幻想的でした。

この夏のサバイバル的なこの経験は、日頃の訓練や体力づくりの大切さ感じました。

(家納 記)